

USB ダンパーの導入(16) —電源供給ユニットへの適用(1)—

1. 始めに

前報(15)に引き続き、今回は、機器の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口への適用を行ってみます。

2. USB ダンパーの試聴計画

今回は、47 研の CD トランスポート 4716 信楽の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口を USB ダンパーの適用対象とします。



再生ルートは次のとおりです。

4716 信楽→CCV-5(GPS-777 よりクロック供給)→DAC-1→TruPhase

なお、CCV-5、GPS-777、DAC-1 は USB ダンパーの導入(13)で報告のとおり電源供給口に USB ダンパーを適用済です。4716 信楽の電源供給ユニットへの適用により、再生経路すべてに USB ダンパーを適用することになります。なお、TruPhase とアンプの Rogers Cadet III には既に VRA-7 を適用しています。音源は次の CD で、すべてコンサートで聴いてきたものです。

作曲家	曲名	演奏
J.S.バッハ他	Lute Partita in E Major 他	アナ・ヴィドヴィッチ(ギター)
ベートーヴェン	String Quartet No. 1 in F Major, Op.18 No. 1 他	Cuarteto Casals
J.S.バッハ他	あなたがそばにいたら他	森麻季 (ソプラノ) / 山岸茂人 (ピアノ)

J.S.バッハ	無伴奏ヴァイオリンのための ソナタ第1番他	前橋汀子
ベートーヴェン	ピアノ三重奏曲全集	Trio Wanderer

3. USB ダンパーの試聴結果

今回は、対照を決めて音がどう変わったかということではなく、これまでの 4716 信楽での CD 再生の印象は、良くも悪くもいかにも CD を聴いているということでしたので、上記の処置で、CD 再生がどれだけ演奏会の雰囲気の再現に近づいたかという聴き方をします。

ヴィドヴィッチのギター曲は、間接音の響きが豊かで、小ホールの後方で聴いていた印象が再現されています。

Cuarteto Casals(カザルス弦楽4重奏団)によるベートーヴェンの弦楽四重奏曲は、切れ込みの良い緊張感溢れる演奏が思い出されます。

森麻季のバッハやヘンデルの歌曲は、伸びのある透明感に富んだソプラノがピアノをバックに浮かび上がってきて、ステージ感が再現されています。

前橋汀子のバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタは、前橋汀子のガルネリの音色を CD 再生で再現するのには苦勞していましたが、いかにも CD の音という印象を相当に脱却して、ガルネリでのバッハの表現はこうだったと思い起こさせるようになりました。

Trio Wanderer のベートーヴェンのピアノ三重奏曲は、ピアノ、ヴァイオリン、チェロそれぞれの音色が相当に演奏会の雰囲気を再現してくれ、特にチェロの胴鳴りがリアルです。

4. まとめ

CCV-5、GPS-777、DAC-1 の電源差し込み口に加えて、CD トランスポートの 4716 信楽の電源供給ユニットの電源差し込み口への USB ダンパー適用の効果を認めました。

以上